



平成 29 年 5 月 1 日

各 位

会 社 名 GMO ペイメントゲートウェイ株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 相浦 一成
 (コード：3769 東証第一部)
 問 合 せ 先 取締役副社長 村松 竜
 (TEL. 03-3464-0182)

平成 29 年 9 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想と実績値との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 28 年 11 月 4 日に公表いたしました平成 29 年 9 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想と本日発表いたしました実績値との差異につきまして、下記の通りお知らせいたします。
 また、最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 11 月 4 日に公表いたしました平成 29 年 9 月期通期の業績予想を下記の通り修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績値の差異

平成 29 年 9 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想と実績値との差異
 (平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	8,389	2,499	2,351	1,409	37.93
実績値 (B)	9,992	2,536	2,370	1,084	29.19
増減額 (B-A)	1,603	37	19	△324	
増減率 (%)	19.1	1.5	0.8	△23.0	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 9 月期第 2 四半期)	5,730	1,879	1,918	1,151	31.01

差異の理由

当第 2 四半期連結累計期間につきましては、決済処理件数及び決済処理金額の増大や大型案件の獲得に伴う決済代行サービスの拡大に加え、連結子会社である GMO ペイメントサービス株式会社による大型加盟店の獲得、当第 2 四半期連結会計期間より損益計算書の連結を開始した Macro Kiosk Berhad の事業拡大等により、売上高は前回発表予想を 19.1%上回りました。

一方、平成 29 年 3 月 10 日に開示いたしました不正アクセス及び情報流出に関連して、特別損失として情報セキュリティ対策費を 270 百万円計上すると共に、特別利益として受取保険金 160 百万円を計上しました。また、GMO ペイメントサービス株式会社については、上記の取引量の拡大に伴って一時差異が増加したものの、当第 2 四半期連結累計期間末においては将来の課税所得を合理的に見積もることが難しいことから、当第 2 四半期連結累計期間末における一時差異に係る繰延税金資産は計上しないこととしたため法人税等の負担率が上昇しました。その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前回発表予想を 23.0%下回りました。

2. 業績予想の修正

平成 29 年 9 月期連結業績予想の修正（平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	18,767	5,013	4,673	2,762	74.35
今回修正予想（B）	20,370	5,013	4,673	2,762	74.35
増減額（B－A）	1,603	—	—	—	
増減率（%）	8.5	—	—	—	
（ご参考）前期実績 （平成 28 年 9 月期）	12,113	3,819	3,780	2,910	78.36

修正の理由

当第 2 四半期連結累計期間の実績値を踏まえ、売上高につきましては、前回発表予想を上回る見込みであるため修正することといたします。なお、GMO ペイメントサービス株式会社の一時差異に係る繰延税金資産については、当第 2 四半期累計期間末においては計上しなかったものの、当連結会計年度末においては将来の課税所得を合理的に見積もることができる状況となり、これを計上するという前提に基づいて業績予想数値を算出しております。

※上記に記載した業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

以上